

人間社会学部 現代社会学科

【中学校一種（社会）、高等学校一種（公民・地理歴史）】

①教員養成の目標

現代社会学科では、学生が、現代社会に生じている諸問題を社会科学分野の専門知識を習得し、問題を解決する方法を身につけることを狙いとしている。具体的には、さまざまな社会科学理論の理解と展開、そしてフィールドワークによる調査研究、文献資料の質的研究、コンピュータによる社会データの数量的研究などの実践的技能を修得できるようにカリキュラムを配置している。こうした取り組みによって、複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性教員を育成する。

【中学校一種（社会）】

複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性中学校教員を育成する。

【高等学校一種（公民・地理歴史）】

複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性高等学校教員を育成する。

②当該目標を達成するための計画

学部全体では、学部に設置された教職課程委員会、および西生田教職支援室によって計画的、組織的な指導が行われているが、学科としては、それらの委員会、西生田教職支援室と連携しながら一名の教職課程委員が他の役職者と連携して学生に対応し、指導している。

学科としての目標は特に定めておらず、目標達成のための計画も特に設けていない。しかし、教職資格取得希望学生に対しての指導は、次のように計画的に実施している。

- 1) 一年次には、オリエンテーション学生委員に教職取得中の学生を含めることとし、教職資格取得希望学生の履修計画に対する疑問にこたえられるようにしている。
- 2) 各年次ごとにアドバイザーをおき、年度初めのオリエンテーション時に、教職資格取得を希望する学生がアドバイザーに相談できるようにしている。
- 3) 特に、介護等体験・教育実習などの実習科目については、常勤・非常勤の教員スタッフが、これら科目の履修で生じる欠席について便宜をはかるよう周知している。

【中学校一種（社会）】

学位取得に向けた指導と共に、免許状取得のため学士課程で習得すべき単位数を踏まえ、所属学科を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年次から履修指導を行っている。

【高等学校一種（公民・地理歴史）】

学位取得に向けた指導と共に、免許状取得のため学士課程で習得すべき単位数を踏まえ、所属学科を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年次から履修指導を行っている。